

平成24年10月10日

「びわこ号復活プロジェクト ギャラリートレイン」を運行します！

～寝屋川市「京阪電車寝屋川車両基地びわこ号復活プロジェクト」への協力の一環として実施～

京阪電気鉄道株式会社（本社：大阪市中央区、社長：加藤 好文）では、2200系車両1編成を使用し、寝屋川市が取り組んでいる「京阪電車寝屋川車両基地びわこ号復活プロジェクト」への協力の一環として、「びわこ号」の写真やスケッチ画などを展示した「びわこ号復活プロジェクト ギャラリートレイン」を10月14日（日）より展示、運行します。

「びわこ号」は、当社寝屋川車両基地に保存されている往年の名車で、「京阪電車寝屋川車両基地びわこ号復活プロジェクト」は、寝屋川市が主体となり、「びわこ号」を市民の力で復活させ、平成26年度の寝屋川車両基地内での復活走行をめざすプロジェクトで、当社はこれに協力しています。

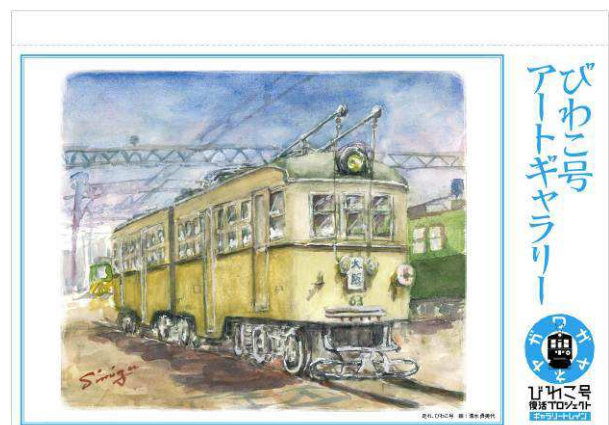
「びわこ号復活プロジェクト ギャラリートレイン」は、「びわこ号」ファンや市民の方々から寝屋川市に提供された「びわこ号」にまつわる写真やスケッチ画を展示するとともに、「びわこ号」の紹介ポスターなども掲出し、沿線のお客さまに「京阪電車寝屋川車両基地びわこ号復活プロジェクト」に対する理解を深めていただくことを目的として展示・運行するものです。まず、10月14日（日）に当社寝屋川車両基地で開催する「ファミリーレールフェア2012」で展示、その後、10月17日（水）より京阪線（交野線・宇治線を除く）で運行を開始します。

当社では、「環境の保全」「地域社会との共生」「社会への貢献」などをキーワードに沿線価値の向上をめざしています。寝屋川市による「京阪電車寝屋川車両基地びわこ号復活プロジェクト」についても、当社はプロジェクト・パートナーとして協力しており、「びわこ号復活プロジェクト ギャラリートレイン」の運行もその一環です。

詳細は別紙のとおりです。



▲ギャラリートレイン「フォトギャラリー」内に展示される写真の一例



▲ギャラリートレイン「アートギャラリー」内に展示されるスケッチ画の一例

(別紙)

1. 展示・運行期間等

〈展 示〉

「ファミリーレールフェア2012」において展示

日 時：平成24年10月14日（日） 10：00～16：00（入場は15：30まで）

場 所：当社寝屋川車両基地（寝屋川市木田元宮2丁目1番1号 最寄り駅：寝屋川市駅）

※基地に保存されている「びわこ号」と並べて展示し、車内外をご覧いただける予定です。

〈運 行〉

平成24年10月17日（水）～平成25年3月31日（日）（予定）

※京阪線（交野線・宇治線を除く）で、通常の営業列車として運行します。

※諸事情により運行をしない日があります。

2. 使用車両

2200系車両（2207－2257号車） 7両1編成

3. 車両装飾

コンセプトの異なる「フォトギャラリー」と「アートギャラリー」を交互に展開するとともに、寝屋川市が包括連携協定を締結している各学校法人が制作したデザインのヘッドマークを順次掲出

〈フォトギャラリーの装飾内容〉

びわこ号が現役車両として活躍していた当時（昭和9年～昭和45年）や、現在のびわこ号の写真を車内に展示します。

〈アートギャラリーの装飾内容〉

びわこ号に親しんでいただくきっかけづくりとして、9月23日（日・祝）に寝屋川市が一般公募で開催したスケッチ大会で制作された作品を車内に展示します。

〈両車両共通の装飾内容〉

びわこ号の紹介ポスター、びわこ号復活プロジェクトの紹介ポスター、各ギャラリーの紹介ポスターに加え、プロジェクトの推進に協力している橋爪紳也氏（大阪府立大学教授）・中川家礼二氏（漫才師）・向谷実氏（ミュージシャン）・斉藤雪乃氏（タレント）の応援ポスターを掲出します。

また、車内を5色のびわこ号復活プロジェクトギャラリートレインのステッカーで彩ります。

※橋爪紳也氏は本プロジェクトの総合プロデューサーを、中川家礼二氏・向谷実氏・斉藤雪乃氏はアドバイザーを務めています。

〈ヘッドマークの掲出スケジュール（予定）〉

日程	掲出位置	学校名など
平成 24 年 10 月 17 日 (水) ～11 月 13 日 (火)	京都方面	大阪電気通信大学
	大阪方面	摂南大学
平成 24 年 11 月 14 日 (水) ～12 月 11 日 (火)	京都方面	同志社香里中学校・高等学校
	大阪方面	関西医科大学
平成 24 年 12 月 12 日 (水) ～平成 25 年 1 月 8 日 (火)	京都方面	聖母女学院
	大阪方面	大阪国際大学
平成 25 年 1 月 9 日 (水) ～2 月 4 日 (月)	京都方面	摂南大学
	大阪方面	大阪電気通信大学
平成 25 年 2 月 5 日 (火) ～3 月 3 日 (日)	京都方面	関西医科大学
	大阪方面	同志社香里中学校・高等学校
平成 25 年 3 月 4 日 (月) ～3 月 31 日 (日)	京都方面	大阪国際大学
	大阪方面	聖母女学院



(ご参考)

◎「びわこ号（60型車両）」の概要

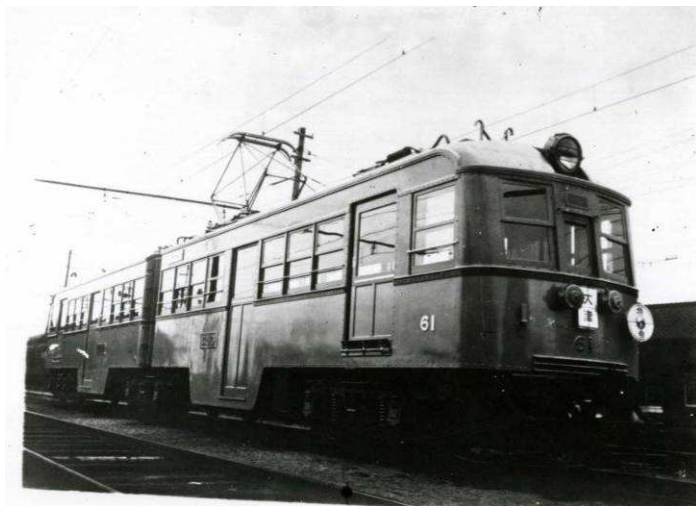
昭和9年、天満橋～浜大津間を72分で快走する直通特急として建造され、琵琶湖島めぐりやスキー船との連絡に活躍して、ご乗客の皆さまから「びわこ号」の愛称で親しまれた。

日本最初の連節車としても知られており、2つの車体が接するところに1台の台車をおいて両方の車体を支える仕組みになっている。京津線には半径の小さなカーブがあり、車両の幅や長さにかかなりの制限を受け、京阪本線からの高速大型車両の直通乗り入れ運転は難しかったが、この連節車を応用することによって東山や逢坂の山越えなど急勾配や急カーブでも円滑に運転することができた。また、屋根の上には2つの集電装置があり、京阪線ではパンタグラフを、京津線では当時ポールを使用していた。

なお、平成21年には「近代化産業遺産」（主催：経済産業省）に認定されている。

◎「びわこ号（60型車両）」の経歴

昭和9年3月	竣工
昭和9年4月2日	天満橋～浜大津間、直通運転開始（運転時間72分）
昭和21年9月	63号大津線へ移管
昭和23年1月27日	61号大津線へ移管
昭和23年10月1日	62号大津線へ移管
昭和26年12月	天満橋～浜大津間に直通スキー列車運転（運転時分86分）
昭和31年1月15日	浜大津～八幡町間に直通臨時列車「やわた」号運転
昭和35年頃まで	初詣直通運転（石山寺または浜大津～香里園間） 初午直通運転（石山寺または浜大津～伏見稻荷間）
昭和36年11月23日	浜大津～枚方公園間に直通運転「菊」号運転
昭和42年12月	62号廃車
昭和43年12月	61号廃車
昭和45年12月	63号廃車
昭和55年3月14日	開業70周年記念事業の一環として修復保存展示（ひらかたパーク）
平成8年6月20日	2回目の修復工事完了
平成12年1月28日	寝屋川車庫に搬入保存



昭和9年当時のびわこ号